

# 新社長登場

New President



日本アトマイズ加工

遠藤 誠二氏

設立60周年となる本年、6月27日付で8代目

よう、社内体制の整備や改善に取り組む」と気を

いも経験したが、「何回もカタログを送ったり電話

12年には電子部品向け専用工場のつくば工場が

工入社。13年営業部長、14年取締役、18年常務取締役、22年専務取締役。

## 社内体制を整備・改善

社長に就任した。2007年の入社以来、一貫して電子部品向け金属粉末の営業としてキャリアを歩んだ。車の電装化やAI（人工知能）で金属粉末に追い風が吹くが、顧客の電子部品メーカーの技術開発に付いていける

引き締める。日本のものづくりの惹かれ、日本アトマイズ加工へ入社。営業は未経験だったが、当時、販売量が粉末冶金の1割程度だった電子部品向けの拡販という難問が与えられた。アポが取れず門前払

がり、年を重ねるほど営業が楽しくなった」と振り返る。入社2年目で大型受注にこぎ着け、電子部品向けの販路や売り上げシェアの拡大をけん引。電子部品向け粉末を同社の主力事業に育てた。

立ち上がり、以降の能力増強に寄与。「先を見据えなければ取り残されるのが電子材料の世界」と強調し、親会社の日本精鉱との営業や開発での連携を強化する考えも示す。「次の世代にすべき開発や行動の道筋を示していきたい」とも語り、意気込み十分。生え抜き社長らしく社員視線を重視し、働きがいのある職場づくりにも力を注ぐ。

(鈴木 大詩)

徐々に反応が得られるようになった」。地道な営業努力が実り、顧客から顧客を紹介される関係に、「横のつながりが広

▽遠藤誠二（えんどう・せいじ）氏1995年大学卒業後、金融機関に就職。融資業務に従事する傍ら、社会に出ても野球に励む。その後オーストラリア留学を経て、外資系企業に勤務。2007年日本アトマイズ加

休日は中学生の息子のサッカーを観戦しリフレッシュ。70年12月15日生まれ、東京都出身。

日刊産業新聞 24.8.2